

ワカメ養殖業の省力化技術の開発

漁業生産工学部

研究の背景・目的

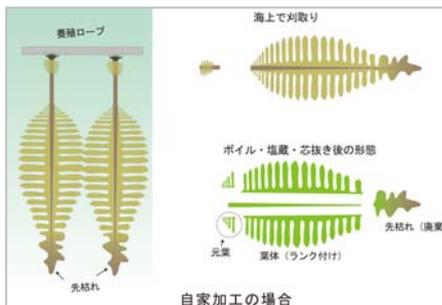
1. 労働集約的な作業に依存するワカメ養殖業の生産性向上のため、ワカメ収穫から塩蔵加工に至る生産工程を見直し、ネックとなる工程の省力化技術を開発する。
2. 小型船外機船での原藻の刈り取り作業を、短時間で安全に行えるようワカメ自動刈り取り機を開発する。

研究成果

1. 船外機船を対象としたワカメ刈り取りシステムを構築。
2. 新たな塩蔵加工工程の提案。生原藻段階の新抜きと連続処理式のボイル装置の開発。

波及効果

1. ワカメ自動刈り取り機は漁業者の実用化段階にある。実証後に普及をはかる。
2. 塩蔵加工システムは、要素機械として実用化が進展しつつある。作業の省力化の他にも製品の品質を向上できる要素がある。



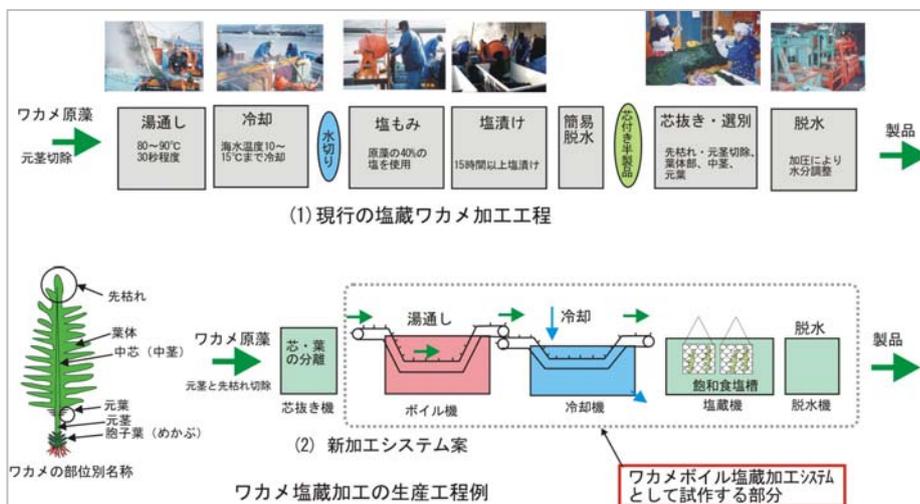
ワカメの加工形態



ワカメ刈り取り機開発実験の様様



刈り取り機と柵送り機



ワカメ塩蔵加工の生産工程景

(機械化研究室・長谷川勝男)